

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

月影が白斑のよう松の樹下

宿直の夜大木の間

●宮古市 太田屋滋

定年の夫の作るツナサラダ

今朝の食卓一番人気

●戸田市 栗原ハツ江

散策路変わる季節を肌で知る

マラソン人の擦過し微風

●朝霞市 林 則雄

乱れならぶビルや電線すりぬけて

十五夜の月中天に屹つ

●東京都新宿区 橋本喜尚

おだやかな秋の夜空に中秋の

名月ながめ心安らぐ

●小金井市 飯田勝巳

新築の小鳥の巣箱梅の木に

今年も来てよ窓越しに見る

●羽村市 中 新一

夜の寒く路地裏通りの縄暖簾

入ればもうくおでんの湯気が

●長岡市 近藤 博

八十路越えシルバー仕事働ける

日々感謝の気持忘れず

●甲賀市 中島稔子

俳 句

白露の乗りてあやふし草の先

●本庄市 長谷川千鶴子

ゆきあいの空に夢のせ観覧車

●東京都大田区 小池弘一

庭隅の小鉢に楚々と薄紅葉

●立川市 浅見 眞

秋深しマスクの下の無精髭

●平塚市 田中博由

敬老会歳違っても皆笑顔

●塩尻市 大家協治

鷹渡る気流に翼任せつつ

●塩尻市 奥原光夫

赤とんぼ高低飛行もすいすいと

●塩尻市 小野正平

参道や水ほとばしる萩の花

●塩尻市 永原良子

吹かれない川原撫子児等あそぶ

●塩尻市 町田まさ子

名月や雲の羽衣纏ひけり

●可児市 井戸和秋

曼珠沙華燃ゆるがとき花浄土

●富士市 鈴木節子

赤とんぼ芝刈る肩に止まりけり

●富士市 鈴木正邦

稲雀音に散ってはすぐもどり

●富士市 村瀬米子

キヤタピラの跡だけ残る刈田かな

●富士市 望月雪夫

轟て散る白波も秋深し

●焼津市 松永文雅